

囲いやま森の会 活動記録

2007.11.26 野口 功

日 時: 2007.11.20 (火) 10~12時 天気: 晴

記録・写真: 山田幸子

観察記録

爽やかな秋が足早に通りすぎて行ってしまいそうな囲い山です。日溜まりが恋しい季節になってしまいました。夏のたくましさは見られませんが、次の春へとつながっていくしなやかな生命力を感じる事が出来ます。寒さに耐え新しい芽吹きへつないでいくための、色々な工夫が見られ始める季節でもあります。

- 1) 種子の散らばり方には色々な方法があります。草むらを歩いていて家の玄関で服についた「ひつつき虫」に驚かされた経験はおありですか? イノコヅチやチヂミザサやオナモミなどの種子(別名ひつつき虫)は、けもの体について種子を運んでもらいます。どんな仕組みで引つくのかルーペで調べてみると楽しいですよ。
- 2) この季節急に存在感を現すのが鳥たち・囲い山でも元気な声で鳴いています。今日はシジュウカラ・モズ・ヒヨドリ・アオジなどの声や姿を確認しました。シロハラらしき声も馬場さんと聞きました。もうそんな季節なのですね。
- 3) ヤツデの白い花が目立っています。この花にはキタテハやオオクロバエなどが集まってきます。葉が8枚あるのかなと思い数えてみると、たいてい7枚か9枚になっています。
- 4) シュロの大きな葉を観察すると、幾何学的な穴が見られることがあります。ササなどにも見られますが、食痕と思われれます。誰が開けたのでしょうか?
- 5) セイタカアワダチソウがまだ咲いています。北アメリカ原産の帰化植物です。1本あたり5万個の種子・地下茎でも増える・背が高い・根から他の植物の発芽や成長を抑える物質を出しているなどが強さの秘密の様です。

開花植物

木本: キツタ・ヤツデ

草本: ハキダメギク・ノボロギク・セイタカアワダチソウ

実のついている植物: マユミ・ヨウシュヤマゴボウ・ムラサキシキブ・ネズミモチ・アオキ・コブシ・マサキ・カナムグラ

鳥: シジュウカラ・モズ・アオジ・ヒヨドリ・シロハラ?

昆虫: アオバハゴロモ

クモ: ジョロウグモ

囲いやまの森

2007.11.20 (火)

立冬を過ぎて 北風が寒い一日でした
チャノキの白い花が見ごろです

